



アエファ AEFA 通信

アジアの山岳少数民族のための学校建設・日本の学校との国際交流
NPO法人 **アジア教育友好協会**
〒105-0014 東京都港区芝3-3-10 芝園オーシャンビル8F
電話 03(6426)0720 /FAX 03(6426)0721

2008年度新しいフレンドシップ校が決まり、活発な交流が期待されます！

新フレンドシップ校の活動紹介

◆東京都教育庁 からの推薦5校◆

国立第七小では、マンガクラブの子ども達が、自筆イラストで学校を紹介。図工専科の黒澤先生の指導で、得意なイラストで自分たちの生活を伝えます。ベトナムのタンホアA小に届けられます。



国立第七小
西校長先生(右)、黒澤先生

赤羽小では、2年生が中心となり、「国際科」の中で交流に取組みます。AEFAの出前授業でタイ・ファイコン小のお友だちの生活を学んだり、作品を作ったりします。



赤羽小/山越校長先生(左)

第五峡田小は、日本伝統文化理解教育推進モデル校です。折り紙や凧など手作りの作品を通してラオス・ノトゥム小に『日本文化』を伝えます。



第五峡田小/白杉校長先生

古里小と氷川小は、自然ゆたかな奥多摩町にあります。雨上がりに山々から霧が湧き上がる様子は、まるでベトナムやラオスの山奥のようです。



古里小/大和田校長先生



氷川小/小野寺校長先生

目黒区下目黒小では、4年生が生き物をテーマにラオス・ブオンナム小と交流。矢吹先生の指導の下、学校の周りの魚やお花や虫や、いろいろな生き物を調べ、ラオスの子どもに紹介します。



下目黒小
大高校長先生(左)、矢吹先生

さいたま市植水小は、6年生を中心にして、お米を中心にした“自然”の交流が、ベトナム・ブオンヤクラ小と始まっています。



植水小/近校長先生

静岡県函南町桑村小は、AEFA石原理事の母校です。石原氏支援校であるラオス・イルン小との交流が始まります。



桑村小/石原理事(左)、長谷校長先生

福島県矢祭町東館小は、日本財団石井氏の母校。ラオス・ナトゥール小との交流が始まります。



東館小/央戸校長先生

京都府宮津市ウイツ青山学園高等学校京都北LETSの町田教室長は、「生徒の世界を広げ、自分達に出来ることを考えたい」と、生徒と一緒にAEFA交流に参加します。



ウイツ青山/教室の生徒たち

～AEFAからのお知らせ～

ラオスにおけるパートナーNGO、VFIで中心となって活躍している女性スタッフ、ノンさんとニヤイさんが、7月第2週に来日、フレンドシップ校7校で交流授業と、みなさまとの交流会を行います。この機会にぜひ、ご参加ください！

「ラオスNGOスタッフとの交流会」

日時・7月11日(金) 18:00～20:00

場所：ニイハオ芝公園店

会費：2,000円

ご連絡：03-6426-0720まで

「交流授業スケジュール」

- 7/7(月) 武蔵村山第八小 11:00-11:45
- 7/7(月) 静岡県桑村小 10:30-11:15
- 7/8(火) 長野県通明小 10:50-11:35
- 7/9(水) 横浜市二俣川小 13:30-14:15
- 7/10(木) 目黒区下目黒小 13:40-15:15
- 7/11(金) 品川区杜松小 11:30-12:15
- 江東区毛利小 10:45-11:30

ノンさん(右)、ニヤイさん(左)





2007年度建設校 ラオスの学校で開校式が行われました

6月10日、ラオノン小学校で、子ども達が主役の開校式が行われました。新校舎5教室と、トイレ・井戸が完成。これまでは、コーヒー畑の中の竹葺の小さな小屋で子ども達が肩を寄せ合って勉強していました。新校舎は、5学年の教室がそろった完全校として、この地域の中心的な学校となります。開校式では、サラワン県知事から感謝状がAEFAに贈られました。



ラオノン小学校新校舎



サラワン県知事からの感謝状

クアンシー小学校（大阪コミュニティ財団『稲垣昇・こと基金』支援校）の開校式では、支援者と学校の名前を掲げたプレートの横に、品川区杜松小のお友だちから贈られた「フレンドシップの鐘」がかけられました。日本とラオスの友情の鐘の音が、村中に響きました。



クアンシー小学校新校舎



杜松小から贈られたフレンドシップの鐘を手に

2008年度建設校 ラオスで新しい校舎の建設が進んでいます

ブオンナム小学校

交流校：東京都下目黒小

校舎の基礎のレンガが積みあがり、柱が建てられています。寮の工事も始まっています。建設に必要な木材は、全て村人が用意、建設にも協力しています。



ハンチュア小学校

交流校：東京都古里小

基礎工事が完了。村人100人が基礎を埋める土運びをして、建設に協力していました。



ハントウム小学校

交流校：東京都第五峡田小

旧校舎を取り払い、建設が進んでいました。



ナトゥール小学校

交流校：福島県東舘小

佐川AEFA専務理事の発案・設計による、風通しがよくて涼しい、2重屋根の校舎の建設が進んでいます。



サボン小学校

村人たちの熱意の現われか、建設が一番進んでおり、屋根までついていました。校舎の周りに果樹も植えられていました。





あたたかな贈り物

タイ・ラオス山岳部の子ども達に届けられました

福井県平章小・長畝小・村岡小他、みなさまから贈られた衣類が、タイのファイコン小・ラオスのアワイ小で配られました。ファイコンでは、今年入寮した子どもたち1人ひとりにAEFA理事長から手渡され、子どもたちにとっても喜ばれました。中には、着る物がないのでお姉さんの服を着て、20キロ離れた村からひたすら歩いて学校にたどりついた子もいました。



着のみ着のまま
で、学校にやってきた子どもたち
～ファイコン小にて

タイ・ファイコン小からの作品

おうちや村の生活を描いた絵が届きました

ファイコン小の子どもから、手紙と絵の作品が届きました。みんなが学校で一番楽しいことは、「サッカー」だそうです。



わたしの夢のおうち



高床式の家・やしの木



森は大切

順次、翻訳して日本のフレンドシップ校に届けられます

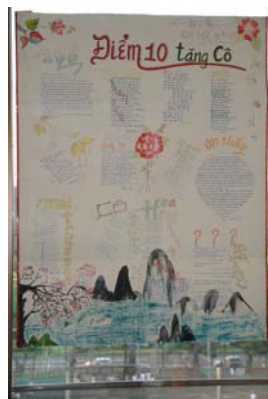
ベトナムからの作

アンルondon小からは遊びや村の生活の様子を描いた絵と、11/20先生の日にした壁新聞が届きました。壁新聞には、先生に贈る詩が書かれています。

「先生が教室にいらっしゃいます。
毎朝いらっしゃいます
肩にバッグをかけて
白いアオザイ姿で、ゆっくりと
おもむろに教え始める
はっきりと一言一言
わたしたちが本当に理解
できるように
終業のたいこが鳴る
先生はまだ教室に残って
いらっしゃる
次の授業の準備のため
かわいい生徒達のため
トルック・ヤン 4年A組



旧正月のちまきを作る



「先生の日」の壁新聞



タムホアからの壁新聞

タムホアA小からは、地元の食べ物や民族を紹介した壁新聞と、児童からのお手紙が届いています。

タインジアン小からは、絵とお手紙のほかに、折り紙が貼られたノートが届きました。日本からも、折り紙を貼って送り返し、交換日記にしていきます。

トゥオンロックB小からは、先生の自己紹介カードと、村の様子が描かれた色彩豊かな子どもたちの壁新聞が届きました。

タンホアA小からは、水牛や田んぼで作業する様子が描かれた、村の生活を紹介した絵が届いています。

ブオンヤクラ小からは、竹で出来た、組み立て式の楽器がギフトとして届きました。木琴のような形で、叩くと素朴な明るい音がします。



タインジアンからの作品



トゥオンロックB
メコンデルタの村を紹介した絵



タンホアA/農作業をする村人たち



ブオンヤクラ/竹でできた楽器